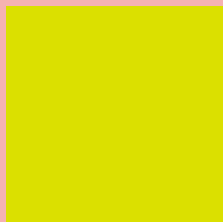
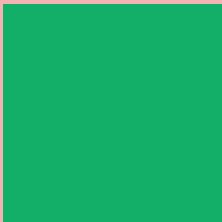


ギガイ だより

vol
157
平成28年2月1日



どこの写真か
わかりますか?
(答えは裏表紙)



つなぐ人と人

坂出市議会は、市民の皆さまの架け橋となり、市民の皆さまに開かれ、わかりやすく、市民の皆さまが参画できる議会の実現を目指していきます。

contents

坂出市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定…	2
一般質問…	3~7
行政視察報告…	9
審議結果…	10
第6回議会報告会を開催…	11

12月定例会の概要

12月定例会では、初日に市長から条例制定案1件、条例の一部改正案7件、補正予算案3件が提案されました。また、9月定例会で継続審査となっていた決算認定13件を認定しました。提案された条例制定案等は、各常任委員会での審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には本市議会で初めてとなる議員提案により提出された政策条例、「坂出市歯と口腔の健康づくり推進条例」を原案のとおり可決しました。（議案の審議結果は10ページをご覧ください。）



主な議案を



本市議会初

坂出市歯と口腔の健康づくり推進条例

歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進することにより、市民の生涯にわたる健康の保持および増進に寄与することを目的としています。

坂出市

- 歯と口腔の健康づくりの推進に関する施策を総合的に実施します。
- 歯科医師等、関係機関、事業者との連携、協力を図ります。

連携・協力

歯科医師等

- 市が実施する施策に協力し、関係機関および事業者との連携を図り、良質かつ適切な歯科口腔保健に関するサービスおよび医療を提供するよう努めます。

連携を図る

関係機関の責務

保健、医療、教育等関係機関は相互に連携を図りながら協力し、市民の歯と口腔の健康づくりを推進するよう努めます。

事業者の責務

事業者は、従業員の歯科検診の機会の確保等、従業員の歯と口腔の健康づくりの取組を支援するよう努めます。

市民の責務

- 歯と口腔の健康づくりに関する知識および理解を深めるよう努める。
- 市が実施する施策に参加し、生涯にわたって歯と口腔の健康づくりに自ら取り組むよう努める。

議員提案による政策条例とは？

政策条例とは、議会運営（会議規則や委員会条例など）や議員の身分（議員報酬など）に関する条例ではなく、市民の暮らしに直接関係する一般施策に関する条例のことです。本市議会では、議会基本条例第10条において、市の政策水準の向上を図るため、政策立案機能の強化に努め、条例の提案等を行うことを規定するなど、市長から提出された議案を議決するだけでなく、議会自らが政策立案していくことを目指しています。



一般会計補正予算

一般会計補正予算案は、1億2,858万8千円を増額し、補正後の予算総額を238億5,388万3千円とするものです。主な内容は以下のとおりです。

民生費

生活保護扶助費 3,900万円

医療費や施設事務費の決算見込みの増加に伴う増額

私立保育所運営費 1億1,400万円

子ども・子育て支援新制度への移行による給付単価の見直し等に伴う増額。
※ただし、私立保育所運営費に移行する延長保育補助金約2,880万円、保育士等処遇改善臨時特例事業補助金約1,600万円は減額しています。

教育費

府中湖カヌー競技場整備事業 624万円

トレーニング設備の充実により、地元選手の競技力向上と競技人口・利用者数の拡大を図る



良質で安心安全な学校給食の提供のため、対策を講じては

Q 食材費の高騰による学校給食への影響が懸念されるが現状の運営は。

A 昨今の食材費の高騰の中、公益財団法人坂出市学校給食会では、学校給食摂取基準を維持したまま代替食品を取り入れ、献立作成に工夫を凝らすなどして、限られた給食費の中で、栄養的にバランスが取れ、良質で安全な学校給食を持続的に供給し、また単年度収支において赤字が発生しないように努めています。(教育部長)

Q 安心安全な学校給食の提供のため現在の1食当たり単価を改定してはどうか。

A 平成29年4月予定の消費税10%への増税が実施される際に、質の改善に加え、食材費の今後の高騰等も考慮しつつ、坂出市学校給食会で改定を検討する予定となっています。また、改定においては、保護者の方々の誤解を招かないよう、機会を設けて説明していきます。(教育部長)

質問の項目
質的な項目
・教育委員会の組織、機能の強化
・坂出市学校再編整備実施計画
・本市の農業振興策

県広域水道事業体設立準備協議会参加についての市長の考えは

Q 昨年度の広域化計画から大きく変更されたが、それを受けて設立準備協議会への参加是非についての見解は。

A 今年度になり水道施設等の更新基準変更に伴う総事業費や計画期間の平均供給単価の減少のほか、単独経営を継続した場合の香川用水受水単価の大幅な上昇など、広域化計画が大きく変更されました。

また先般、広域事業体が事業を開始する平成30年度から参画するためには、遅くとも今年度中に意思決定を行い、平成28年度当初から参加するよう県より再度要請がありました。

こうした中、本市財政計画シミュレーションと今年度変更された広域化計画との比較検討を十分に進めた結果、今後は来年度からの準備協議会への参加に向け準備を進めていく予定です。(市長)



インフルエンザワクチン接種助成の手続きの簡素化を

Q 65歳以上の高齢者へのインフルエンザワクチン接種助成のうち、住民税非課税世帯については、自己負担が無料となるが、そのための非課税証明書発行等の手続きを簡素化できないか。また、マイナンバー制度の活用は。

A 住民税非課税世帯の方が、インフルエンザワクチンを無料で接種できる証明書の発行手続きをする際には、税務課での非課税世帯である証明書が必要ですが、市役所への来庁に要する交通費が発生するなど、無料化のメリットがなくなる場合も考えられます。その際には郵送による手続きも可能ですので、けんこう課などへご相談ください。また、予防接種事業はマイナンバー利用の対象業務とされており、将来的には活用ができるものと考えます。(健康福祉部長)



災害時の情報発信として音声放送テレホンサービス導入を

Q 災害時には市民の安全を守るため、迅速かつ正確な情報発信が重要である。また、ホームページやツイッターなど多様な手段を活用し、市民への周知を図る必要がある。

そこで、防災行政無線の情報を再確認できる音声放送テレホンサービスを導入してはどうか。

A 災害時には、テレビ・ラジオによる気象情報の伝達に加え、避難勧告・避難指示などの避難情報については、防災無線、広報車などによる広報、自治会等への電話連絡や携帯電話への緊急速報メール、防災メールなどあらゆる手段を利用し、市民への周知に努めています。サイレン吹鳴装置や広報車による情報が聞き取れない、聞き逃した場合には、現在、整備を進めている同報系防災行政無線により、その内容を電話で確認できる音声放送テレホンサービスの導入を検討しています。(総務部長)

質問の項目
質的な項目
・広報紙の活用
・口コミタイプシンドローム予防
・胃がんリスク検査の実施

土砂災害予防のために地すべりセンサーを設置しては

Q 平成26年7月より、香川県が土砂災害のうち、「地すべり」の警戒区域指定に向けた基礎調査を行った結果、本市においては、西庄地区、金山地区、川津地区の一部について土砂災害警戒区域の指定に向けた住民説明会が開催された。地域住民に目視により状況を観察し、県に報告してほしいとの説明であったが、土砂災害から市民の生命を守るため、いち早く異常を検知する地すべりセンサーを設置する考えはないか。

A 地すべりについては、対象地区の土砂災害ハザードマップに地すべりの警戒区域を記載し、今年度中に関係地区に配布する予定です。ハザードマップを参考に日頃から避難路や避難場所の確認をされ、いざという時にはスムーズに避難していただきたいと思います。

また、地すべりセンサーの設置については、今後、香川県に要望していきます。(総務部長)

質問の項目
 ・ 道路交通法の改正
 ・ 学校と地域の連携、協働
 ・ 金融機関と連携した空家等対策
 資金助成事業の実施

認知症対策のより一層の推進を

Q 高齢化が進む現代においては、誰もが認知症となる可能性があると言われており、国においては、厚労省が、11の省庁と連携し、認知症施策推進総合戦略である新オレンジプランを推進している。他の自治体より先んじて高齢化が進んでいる本市においては、全庁的な体制で積極的に認知症対策を進めていくべきと考えますが。

A 本市では市民後見人制度をはじめ、他の自治体に先駆けて、認知症対策に取り組んできたと自負しています。また、市内の在宅医療・介護関係者が一堂に会する研修会を9月に初めて実施するなど、医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けて、庁内各課だけでなく、広く市内の関係機関等が連携、共働して推進できる体制づくりに取り組んでいます。(市長)



TPPへの参加に伴い、6次産業を推進し産業振興を

Q 産業振興に向けた取り組みの一環で、TPP参加を契機に三金時など地元産品を海外展開させる方策として、6次産業を推進してはどうか。

A 農産物を生産し、加工、流通・販売まで農業者が主体的、総合的にかかわることで農業を活性化させ、農業所得の向上や経営の安定化を図るなど、6次産業化の推進は重要です。

国においても、TPP協定交渉の大筋合意を受け、制定した総合的なTPP関連政策大綱に、6次産業化の推進により、地域の収益力の強化や新事業を創出し、海外展開の拡大を促すことが掲げられています。

現在策定中の香川県農業・農村基本計画の中でも、6次産業化を推進するとされており、今後、農畜水産物の6次産業化について調査・研究し、J A等関係機関と連携して商品開発を促進していきます。(建設経済部長)

質問の項目
 ・ 中小企業振興基本条例の制定
 ・ 地元企業の人材確保支援
 ・ 未来を拓く力をはぐくむ人づくり

市道の適正管理の徹底を

Q 住みたいまちづくりに欠かせない市道の維持管理は、工事施工台帳等を整備した上で、交通量や老朽化の度合いなどを総合的に判断して適正に行うべきであるが、現状は。

A 道路は市民生活に密着した、安全安心な生活を送るための重要な施設です。市道の整備に関しては、地元自治会をはじめ市民の方々と、拡幅工事や舗装工事、修繕工事など様々な種類の数多くの要望があります。それらの要望を受け、職員が現状の状況や利用状況等の確認を行った上で、工法等を検討し、緊急性、公共性、地域性などを十分に勘案し、順次、工事を実施しています。

また、過去10年間の工事の施行箇所・概要・時期・金額等を記載した工事施工台帳を整備しており、今後も引き続き、適正な維持管理に努めます。(建設経済部長)



市民から親しまれる「学園通り」を歩行者専用空間にしては

Q 福江松山線や京町線、県道富士見町線が整備、拡幅され、道路事情が格段に改善されつつある中、狭隘で道路渋滞が頻発する「学園通り」は、一部の公共交通機関を除いて通行禁止とし、歩行者専用スペースとしてはどうか。

A 沿線に商店や一般住宅が立地していることから、一般車両を排除することは難しいと考えます。

「学園通り」については、富士見町線や京町線の整備が完了し、交通機能の確保が図られた後には、自転車や歩行者に配慮した道路形態とするため、当路線の断面構成を見直し、歩道を拡幅し、車道幅員を狭くするなど、安心安全な道路整備を行い、文教地区にふさわしい環境整備を図りたいと考えています。
(市長)



大学誘致に向けて近隣大学の意向調査を

Q 大学誘致により、どのようなメリットが考えられるのか。

A 大学の立地により、アパート等の住宅需要、飲食や娯楽等の消費需要が生み出され、地域経済の拡大に伴う税収の増加が期待できます。また、交流人口の増加により本市の活性化が図られると考えています。
(総務部長)

Q 大学誘致に向けて、近隣大学の学部の移転や新設等の聞き取り調査を行っているのか。

A 現在のところ、学部の移転や新設等の聞き取り調査は実施していませんが、本市にとっては、大学誘致に伴う財政負担などの課題がある一方、様々なメリットがあると考えています。まずは、先進地の事例を研究するとともに、坂出市就職フェアや企業訪問バスツアーなどの機会をとらえて、学校関係者等からの情報収集に努めていきます。
(総務部長)

質問の主な項目
・ 福江松山線道路改良事業の予定
・ コンバクトシティーへの取り組み
・ 新県立体育館の建設誘致

若い世代をターゲットとした人口減少対策を

Q 社会動態においては、若い世代が進学等に伴い、市外に流出していることが人口減少の主な要因と考えられるが、将来人口目標(※)の達成に向けた今後の具体的な取り組みは。

A 大学進学時や就職時における市外への転出超過が、本市の人口減少の一因となっていることから、Uターン就職などでより多くの方々にとふるさと坂出に戻って来ていただくため、企業誘致や産業振興による雇用の場の確保をはじめ、生活環境・住環境の整備、市内の特色のある4つの高等学校や香川大学との連携・協力の推進、ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実など、様々な取り組みを着実に推進していきます。
(市長)
※10月に策定した「坂出市人口ビジョン」で2060年の将来人口を42,000人としています。

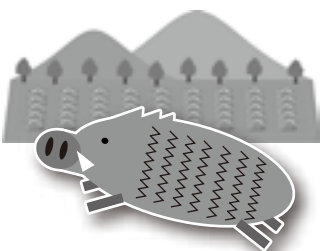
質問の主な項目
・ 新年度予算の編成方針
・ 農業委員会制度の改革
・ 遊休農地等の解消に向けた取り組み

IT技術を駆使したより効果的な鳥獣被害対策に取り組んで

Q 県内ではイノシシによる被害が頻繁に報道されているが、香川県では情報通信技術を活用した先進的な捕獲システムを導入している。本市の今後の対応は。

A IT技術を導入して遠隔地から「わな」の扉を操作することで、1度に複数頭のイノシシを捕獲できる「囲いわな」を、香川県が事業主体となり、今年度から設置する予定です。本市もモデル地区として参加する意向ですが、「囲いわな」の場合、ある程度の広さの確保と十分な餌付けを行うなどの時間を要するため、周辺住民の協力等が必要となります。

本市としては、今後も、県及び有害鳥獣対策実施隊等と協議や連携を図りながら、有害鳥獣等の効果的な捕獲に努めていきます。
(建設経済部長)



認知症初期集中支援事業のさらなる充実を

Q 本市の認知症初期集中支援事業は平成26年11月から開始して1年が経過した。成果や課題を受け、今後どのように進めていく予定か。

A 早い段階から専門職が関わって適切な支援を受けることにより、本人や家族の不安が軽減され、自宅での生活が継続できるようにしています。

課題としては、これまで相談のあったほとんどのケースについては、ほぼ症状が進んだ段階での相談であったことでした。本来の目的である、早期に関わりを持ち、早期に対応できるように、今年度3名を増員し、基本チェックリストの結果から認知症が疑われる人を対象に自宅訪問を中心に平成27年10月より活動を開始しており、今後も早期診断・早期対応につながるよう取り組みを進めています。

(健康福祉部長)

質問の項目
 ・ 坂出創生に向けての市長の所見
 ・ 質主
 ・ 地場企業の動向と情報交換
 ・ 第2次坂出市健康増進計画

既存民間住宅を活用した借上公営住宅制度を導入しては

Q 老朽化した公営住宅を建てかえるだけでなく、多大な投資額や今後の人口減少の傾向も鑑み、民間の賃貸住宅を借り上げて公営住宅として利用する考えはあるか。

A 借上公営住宅制度については、土地取得費や建設費等の多額の初期投資を必要としないという点で効率的な公営住宅の供給を可能とする手段であると認識しています。民間事業者の確保、契約期間や家賃の設定、修繕に関する役割分担の課題もあります。

坂出市公営住宅等長寿命化計画を見直す際には、本市における厳しい財政事情や公営住宅に対する市民のニーズ等を総合的に判断する中で、借上公営住宅制度も1つの手法として捉え、慎重に検討していきます。

(建設経済部長)



今後、さかいでブランドは「量の拡大から質の向上」を目指すべき

Q さかいでブランドを活用し坂出の知名度を向上させるためには、消費者が求める商品開発が重要である。「量の拡大から質の向上へ」事業の力点を移すなど、認定基準を見直す時期が来ているのではないか。

A 現在、さかいでブランド認定商品は68品目に及んでおりますが、原材料となる市内特産品や農産物の仕入れは時期が限定されるものもあり、認定品が多数あることで、「おもてなし まちの駅」等で特色ある認定品の購入が可能となっております。

今後も、現在の認定制度を継続し、一般マーケットから特定のニーズを持つ規模の小さいマーケットまで広く情報を発信することにより、本市の知名度の向上、産業振興、地域の活性化を図っていきます。

(建設経済部長)

質問の項目
 ・ 坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略
 ・ 商店街再生に向けた取り組み
 ・ 公共交通施策

市内循環バスのダイヤ延長を

Q にぎわい創出事業として駅前広場で開催された「バル」は、通勤帰りのサラリーマンや若者たちを中心にかつてない盛り上がりを見せ、夜のにぎわいに対する潜在的ニーズを改めて感じた。

そこで、現在、午後6時20分坂出駅発が最終便となっている循環バスのダイヤを、午後9時台にまで延長することで、市民生活の利便性の向上や市街地のさらなるにぎわい創出につなげてはどうか。

A 循環バスは、現在、月平均で東西2ルート合わせて、約4千人の方に利用され、市民の足として定着しつつあります。今後は、日曜、祝日における乗降客の割合やウィークデーでの乗降客数との差を勘案し、通勤、通学客からの要望なども踏まえ、さらなる利用拡大に向けて、ダイヤの延長も含め検討していきます。

(市民生活部長)



地域内再投資力を高める
施策を

Q 地元金融機関を地域づくりのアドバイザーとして活用することや地元大手企業に雇用面等の地域貢献を求めるなどして、地域内再投資力を高めていく考えは。

A 11月25日に本市の指定金融機関である百十四銀行と包括連携協力に関する協定を締結しました。創業や起業及び企業力向上への支援をはじめ、観光振興、農林水産振興等、その他地域活性化に関する事業について、相互に連携・協力していきます。

また、企業訪問の際には大企業等に対し、より一層地元における雇用確保を図っていただくよう要望を行うとともに、企業立地促進助成金の制度として地元の新規常用雇用者を確保する条件を設けるなどして、一定の成果を得ています。

今後、金融機関との連携協力も図りながら、様々な機会を捉えて地元企業の振興を図り、地域経済の活性化に取り組んでいきます。

(総務部長)

質問の項目

- ・坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略と地域経済活性化
- ・TPP太筋合意の地元経済への影響と対策
- ・同和対策事業の縮小、削減

先進自治体に学び、
人口増対策として
空き家バンク制度の充実を

Q 先進自治体の例に学び、独自の空き家バンク制度を創設して人口増対策へつなげてはどうか。

A 当面は、現在の制度を活用する中で充実を図っていきたくないと考えていますが、現在本市が若者の移住・定住促進対策として実施している新婚世帯家賃補助制度について、制度利用者の方々が、今後の本市の定住に関してどのような定住促進策を求めているかなどの意向を把握するため、アンケート調査を行う予定です。アンケート調査を分析し、先進地事例の空き家バンク制度を活用した施策を研究する中で、本市の実情に即し、実効性の伴った人口増対策を検討していきます。

(総務部長)



讃岐国府跡周辺の整備充実を

Q 讃岐国府跡周辺には数多くの名所や旧跡もあり、多くの見学者が訪れているが、どの施設にもトイレが無く、不便を来している。道路幅員が狭い周辺道路も含め、整備を促進すべきと考えるが。

A トイレの設置に関しては、平日であれば、香川県埋蔵文化財センターのトイレが利用可能であり、土日や休日についても、事前の団体見学の申し出があれば、見学に合わせてトイレ休憩もできることから、現在のところ、国府跡周辺へトイレを整備する予定はありません。また、鼓岡神社へのトイレの設置も、国府跡全体の今後の保存活用のプランを考えていく中で、検討していきたいと考えています。

国府域に所在する様々な史跡の進入路などについても、今後の史跡指定範囲、活用方法のなかで検討を図る必要があると考えています。

(教育部長)

質問の項目

- ・鉛製給水管の交換費用の補助
- ・高齢者向け給食サービスの充実
- ・同報系防災行政無線の運用

府中町で時刻等を知らせる
サイレンの運用見直しを

Q 府中町のサイレンは、時刻を知らせたり、過去には火災の発生を知らせるなど、地域住民の生活に役立ってきたが、防災行政無線運用後は、サイレンを中止してもいいと考えるが。

A 旧府中農協に設置されているスピーカーからは朝6時、正午、夕方5時にサイレンが放送されていますが、地元連合自治会より、従来と同じように同報系防災行政無線から放送してほしいとの要望をいただいています。

そこで、府中出張所の敷地内に設置するスピーカーについては、市内全てのスピーカーから放送される昼12時のエーデルワイス、夕方5時の夕焼け小焼けに加え、朝6時にウェストミンスターの鐘(学校のチャイム音)を放送する方向で調整を進めているところです。

(総務部長)



全議案全会一致で可決

付託議案
4件

教育民生 委員会



坂出市教育大綱の周知徹底を！

Q 国においては、時代の変化に伴う学校と地域のあり方について議論されているが、坂出市教育大綱の中では、どのように位置づけているのか。

A 基本目標3「ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実」の中で、「学校、家庭、地域が連携した教育の充実」と題した項目を設けるなど、学校、家庭、地域の連携を推進していく考えです。そのため、学校支援ボランティアとして、より多くの地域住民の参画が得られるよう取り組んでいきます。

Q 地域と密接にかかわる小学校と比べて、複数の小学校区から成る中学校においては、学校支援の取り組みが進まない状況もみられるが。

A 中学校においては、生徒会活動や特別活動などを通じて、地域活動に参加することで、地域との連携を図っていきます。

議員の意見

地域とともにある学校への転換には、地域住民や家庭の理解が必須となるため、教育大綱の趣旨の相互理解が図られるよう、周知徹底を求める。

全議案全会一致で可決

付託議案
6件

総務消防 委員会



マイナンバー制度の開始に伴い 個人情報保護の徹底を！

Q 個人番号を活用した庁内外の情報連携により、個人番号を提示することで、各種手続きの際に必要な住民票等の添付書類の提出が不要となり、当該書類の取得費用や時間が削減され、市民の負担軽減や手続きの簡略化が図られる一方で、個人情報の漏えいや不正使用を危惧する市民も少なからず存在する。窓口での取り扱いにおける安全対策をどのように考えるのか。

A 個人識別性が高く、通常の個人情報よりも厳格な保護が求められる特定個人情報の取り扱いに際しては、各業務の遂行に必要な最小限の範囲でのみ利用、



提供できることとしています。また、関係法令に基づく適正な取り扱いを徹底するとともに、技術的な安全管理措置も講じていきます。

12月定例会の日程

12月 3日	本会議	提案説明 決算審査特別委員長報告 への質疑・討論・採決
12月 8日	本会議	議案質疑・委員会付託
12月 9日	本会議	一般質問(個人)
12月10日	本会議	一般質問(個人)
12月11日	本会議 委員会	一般質問(個人) 議会運営委員会の調査
12月14日	委員会	総務消防委員会の審査
12月15日	委員会	教育民生委員会の審査
12月16日	委員会	市民建設委員会の審査
12月22日	議員総会 本会議	委員長報告 委員長報告への質疑・ 討論・採決 追加議案の提案説明 質疑・討論・採決

付託議案
3件

市民建設 委員会



香川県内の水道事業広域化への 参加に伴う課題の解消は

Q 広域化計画の一部が見直されたものの、当初本市が想定していた広域化に伴うさまざまな問題点が解消されたとは言えず、香川県広域水道事業体設立準備協議会への平成28年度当初からの参画は時期尚早であると考えているが。

A 安全で上質な水道水を将来にわたって安定的に供給することは、水道事業にとって最も重要な責務であると考えています。

今回新たに示された広域化計画の変更を受け、再度本市財政計画シミュレーションと総合的に比較した結果、単独経営の継続よりも広域化への参画が優位であると判断しました。



議案第 29 号坂出市下水道条例の一部を改正する条例制定については、全会一致に至らず採決により可決。その外は全て全会一致で可決。

先進事例を見てきました！ 勉強してきました！

委員会では、付託された議案等の審査のほか
所管する事項の諸問題について調査を行っています。
視察内容の詳細は市議会ホームページに掲載しています。

総務消防委員会 10月21日～23日

埼玉県春日部市 公共施設管理について

財政規模の縮小や公共施設の老朽化の進行に対応するため、今後の公共施設と公共サービスの在り方を検討するとともに、施設の再配置や有効活用などに取り組み、公共施設を総合的かつ計画的に管理しています。

栃木県宇都宮市 人口減少対策について

全部長で構成する推進本部を設置し、「自然動態」「社会動態」「都市基盤」の3つの分科会を設けて課題を検証した上で効果的な施策につなげようとしています。

千葉県千葉市 ちば市民協働レポートについて

市内で発生する様々な課題について、ICTを使って、市民がレポートすることで市民と行政、市民と市民の間で、それらの課題を共有し、合理的かつ効率的に解決することを目指す仕組みです。



教育民生委員会 10月20日～22日

大分県中津市 新病院建設後の経営状況について

国立中津病院を前身とする市立中津市民病院において、築後約40年経過した病棟を改築し、2012年10月に新病院が開院しました。小児救急も充実しており、診療圏24万人の拠点病院となっています。



大分県佐伯市 食のまちづくりについて

「食」に対する関心が高まっている中、九州一広いまちならではの豊富な食資源を生かし、食育を中心に、食の魅力を発信・活用することによるまちづくりに取り組んでいます。

宮崎県宮崎市 総合スポーツ戦略都市について

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、事前合宿などの誘致に取り組んでおり、その他国内外の大会や合宿などの誘致を一層進めて「総合スポーツ戦略都市」を目指しています。

市民建設委員会 11月4日～6日

大分県大分市 大分市ロケーションオフィスについて

映画・ドラマの舞台となりうる要素を備えている様々な魅力あるロケーションを提供し、映像を通じて情報発信することにより、地域の活性化、さらには、魅力あるまちづくりの推進に資するため設立された非営利団体です。

大分県竹田市 農村回帰定住支援について

全国から移住希望者を募るため、分野ごとに分かれていた窓口を一本化し、移住に関する相談を一手に引き受けるほか、移住支援や企業支援等を積極的に行っています。

宮崎県都城市 まちなか活性化プラン事業について

市街地の商業施設の閉店が相次ぎ、中心市街地の空洞化対策を実行するため、まちなかの商業機能や地域資源を有効活用しながら、歩行者通行量の増加、空き店舗の解消に取り組み、賑わい創出を目指しています。



平成27年 12月定例会の審議結果

議員数=20名 表決参加議員数=19名
※議長は表決には加わりません。

市長提出議案

認定第1号 平成26年度坂出市一般会計決算認定
認定第2号 平成26年度坂出市国民健康保険特別会計決算認定



賛成

植原 泰、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、齊藤義明、出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫、吉田耕一、大前寛乗、山条忠文、東山光徳

反対

脇 芳美、野角満昭

市長提出議案

認定第11号 平成26年度坂出市後期高齢者医療特別会計決算認定



賛成

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、齊藤義明、出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫、吉田耕一、大前寛乗、山条忠文、東山光徳

反対

野角満昭

市長提出議案

議案第23号 坂出市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例制定
議案第28号 坂出市介護保険条例の一部を改正する条例制定
議案第29号 坂出市下水道条例の一部を改正する条例制定



賛成

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、齊藤義明、出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫、吉田耕一、大前寛乗、山条忠文、東山光徳

反対

野角満昭

賛成意見(要旨)

申請方法において手間は変わらず、むしろマイナンバーの導入により住民票の提出が省かれ利便性が上がることとなるので賛成である。

反対意見(要旨)

個人情報漏えい等の問題が懸念されることから、マイナンバー制度に賛同できないため、関連条例には反対である。

市長提出議案

- 予算** 平成27年度坂出市一般会計補正予算案第3号など 補正予算案3件
- 条例** 坂出市事務分掌条例等の一部を改正する条例制定など 条例改正案5件
- 決算** 平成26年度坂出市一般会計決算認定など 決算認定案10件

議員提出議案

- 条例** 坂出市歯と口腔の健康づくり推進条例制定

議案内容等の詳細は、坂出市議会ホームページ【議案内容等・審議結果】をご覧ください。

意見書案に対する各会派の取り扱い状況

市民の皆さん等が持参された陳情(議会に対する要望・希望)のうち、行政機関等への意見書の提出や議会の決議を求めるものについては、議会運営委員会において各会派の意見聴取を行います。このうち全会一致となったものは、議会運営委員会が提出者となり、意見書案を提出します。今回は全て不一致のため、意見書案の提出はありません。

- ① 社会保障制度の拡充を求める陳情書 (提出者) 香川県社会保障推進協議会
- ② TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求める陳情書 (提出者) 農民運動香川県連合会
- ③ 介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現を求める陳情書 (提出者) 香川県医療労働組合連合会

賛成 ○ 反対 ×	市民グループ 未来の会	新政会	公明党 議員会	市民の声	改進の会	日本共産党 議員会	新緑	市民と共に
①	×	×	×	×	×	○	○	×
②	×	×	×	×	×	○	×	○
③	×	×	×	×	×	○	○	×

全議員が賛成した議案(可決・認定)

第6回議会報告会を開催しました

第6回目となる議会報告会を下記のとおり実施し、153名の市民の皆様にご参加いただきました。会場では、6月、9月の定例会の審議内容などについてご報告するとともに、参加者との意見交換を通し、議会に対する貴重なご意見、ご要望を数多くいただきました。



与島開発総合センター



松山公民館



加茂公民館

開催日	会場	参加者数
10月27日(火)	与島開発総合センター	35
	松山公民館	30
	加茂公民館	15
10月29日(木)	市民ふれあい会館	28
	王越公民館	23
10月30日(金)	金山集会所	22
合計		153



市民ふれあい会館



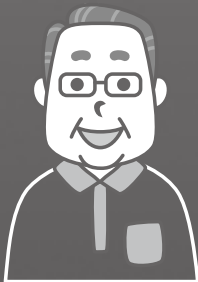
王越公民館



金山集会所

ご意見・ご要望と議会からの回答を一部ご紹介します

参加者の皆様から寄せられた意見・要望等のうち、当日、回答を保留したものや検討するとお答えしたもののうち、委員会です管事務調査を行ったものについて、その調査結果を抜粋してご紹介します。



【総務消防委員会関係】

マイナンバー制度の内容がよく分かる説明チラシを作成してほしい。また、説明会を開催してもらいたい。

(10/27 与島開発総合センター)

現在、国の作成したマイナンバー制度に関するパンフレットを市民課及び出張所に設置するとともに、これまでも広報紙やホームページ上でも周知をしてきました。

また、11月には市民課市民係に個人番号通知カードに関する問い合わせ専用の電話を設置したほか、広報さかいで12月号においても通知カード受け取り後の手続きに関する記事を掲載しています。

説明会に関しては、市民からの要望が多くないことから、現在のところ開催する予定はありませんが、今後も引き続き広報紙及びホームページにおいて適宜周知していきます。



詳細は市議会ホームページをご覧ください。

Voice

～まち歩きの中で～

健康な歯を保つことで、いくつになっても、おいしく食事をいただいたり、家族や友人と会話を楽しみたいものです。本市議会では、12月定例会において議員提案により“坂出市歯と口腔の健康づくり推進条例”を制定しました。(2P参照)新成人の皆さんに、歯の健康について話を伺いました。

とにかく歯磨き。食事後など気になった時はすぐに歯磨きをします。

歯の間まで丁寧な歯磨きを心掛けています。



藤本 静さん (左 加茂町)
福本加奈子さん (右 林田町)



山中 優治さん (左 府中町)
山本 大樹さん (中 ")
林田 章吾さん (右 ")

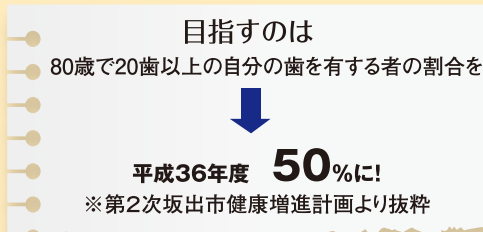
炭酸ジュースは飲まないようにしています。歯の定期健診も欠かしません。

Q 健康な歯を維持するために気をつけていることは？

固めのガムを噛むなど、しっかり噛むことを意識しています。市民のためになる取り組みを市議会には期待しています。



中條 健吾さん (左 久米町)
小原 未来さん (右 駒止町)



小原 如恵さん (左 江尻町)
包末智佐登さん (右 加茂町)

全国から坂出市に

《議会名》

- 11/4 埼玉県羽生市議会
- 11/5 滋賀県甲賀市議会
- 11/11 埼玉県蕨市議会
- 11/17 静岡県伊東市議会
- 11/19 熊本県宇城市議会
- 11/24 福岡県大牟田市議会
- 1/22 宮崎県えびの市議会
- 1/25 山形県上山市議会

《視察内容》

- 学校再編整備計画
- 算数・数学オリンピック
- 人口増対策
- 市民後見人制度
- 観光振興、観光ボランティア
- 市民後見人制度
- さかいでブランド認定制度
- 市民後見人制度



議会だより第156号の記事中に誤りがありましたので、お詫びして訂正させていただきます。

裏表紙 「全国から坂出市に」 表中
誤 8/24 長崎県雲仙・南島原保健組合議会
正 8/24 長崎県雲仙・南島原保健組合議会

編集後記

● 昨日11月14日に坂出小学校開校5周年記念式典に参加させていただきました。

● 当日は卒業生による講演等さまざまな催しが行なわれ、子供達のキラキラした瞳を見ることができました。特に身を乗り出して聞いていたのは、坂出小となってからの卒業生の講演や活躍している先輩からのビデオレター等を放映しているときでした。身近な先輩の活躍に自分たちの夢や将来を重ねているようで眩しく羨ましく感じました。どの子も輝く潜在能力をもっています。その選択肢を増やしてあげるためにも、惜しまれつつ終了した瀬戸大橋駅伝のように、地域で子供たちを育てていける行事、夢に向かって努力できる環境や地域づくりに取り組まなくてはならないと、議員としての責務を再確認した1日となりました。(植原)

広報広聴委員会

- | | | | |
|-----|------|------|------|
| 委員長 | 若杉輝久 | 副委員長 | 出田泰三 |
| 委員 | 植原 泰 | 東原 章 | 鳥飼年幸 |
| | 若谷修治 | 茨 智仁 | 吉田耕一 |

表紙:「瀬戸内国際芸術祭2016」

春会期 沙弥島会場

今回も春会期として3月20日(日・祝日)～4月17日(日)の日程で開催されます。市民総出で、沙弥島を大いに盛り上げていきましょう。

3月定例会は
3月初旬開会予定です

